

三永水源地（池）案内



三永水源地の水は、呉市の水道局の管理である。そんな施設がなぜ東広島市にあるのか。

三永水源地の工事は、呉水道の第2期拡張工事の一環として、昭和13年に着工し、昭和18年に竣工したという。そのころ呉には海軍工廠とか、海軍の重要施設があったわけだから、その方面のライフラインを充実させる目的があったのだろう。ざっと70年も前のことである。

水は、黒瀬川の上流、「吾妻子の滝」の上部で取り入れ、一支流に築いた小規模のダムに流し込む。池の周囲には、立ち入り禁止の有刺鉄線が張られていて、木々や竹がうっそうと生い茂る。岸边がどうなっているのかと好奇心をそそられる。

ダムに貯めた水は、パイプラインを通過して、はるばる呉市に供給される。パイプは地中に埋められているらしいが、老朽化が著しいという。

ところで東広島市の飲み水は、どうなっているのか。ほとんどは原爆ドームの近くを流れる太田川の水を、上流で取っている。90年代のはじめ、雨の降らない風台風があり、風で飛んだ海水による大停電が発生した。太田川の水を標高250mに押し上げるポンプも停電し、東広島市内は停電と断水のダブルパンチを食らった。

三永水源地は、春、サクラとフジの季節だけ、正門付近が開放される。これは東広島市民へのサービスだろうか。自転車で正門へ行くには、県道331号を使うのが基本。この県道は、東子（あずまこ）の交差点で国道375号と交差している。しかし、国道を通らないで、県道に直接出る、楽しい田舎道が無数にある。

呉市水道局三永水源地施設概要			
位置	東広島市西条町下三永331番地		
型式	重力式コンクリートダム		
堤高	14.20m	送水能力	35,000m ³ /日
堤長	100.00m	送水路延長	26.1Km
満水面標高	204.20m	送水方式	自然流下式
満水面積	544,000m ²	着工年月日	昭和13年11月
集水面積	68,300,000m ²	竣工年月日	昭和18年 3月
有効貯水量	2,640,000m ³		

